

開館日数増加に向けた検討ワーキンググループの設置について

平成24年7月2日

館長決定

1. 設置目的

中期計画で設定した年間開館日数の増加に向けた検討を行い、その実施に向けた具体的運用方針等を策定するため、「独立行政法人国立公文書館開館日数増加に向けた検討ワーキンググループ」（以下「WG」という。）を設置する。

2. 検討及び処理事項

WGは、以下に掲げる事項について必要な調査検討等を行い、その結論を得るものとする。

- (1) 実施に向けた具体的運用方針等の策定及び実施体制に関すること。
- (2) 実施コストの検討及び必要に応じ予算要求及び人員要求に関すること。
- (3) その他WGにおいて検討することが適当と認められる事項。

3. 構成

- (1) WGは、次長が主宰する。
- (2) WGの構成員は、別紙のとおりとする。

ただし、必要に応じ構成員以外の者に協力を求め又は会議に出席させることができる。

4. WG会議の開催

次長は必要に応じ、会議を開催する。

また、構成員は、必要に応じ、次長に対して会議の開催を求めることができる。

5. WGの開催状況の報告

WGの検討状況等は、適宜幹部会等に報告するものとする。

6. WGの庶務

WGの庶務は、関係課等の協力を得て、総務課総務係において処理する。

7. その他

その他WGの運営に必要な事項については次長が定める。

(別紙)

開館日数増加に向けた検討ワーキンググループ構成員

次 長

総務課長

総務課長補佐（総務担当）

総務課長補佐（経理担当）

総務課長補佐（企画法規担当）

総務課総務係長

総務課経理第1係長

総務課企画法規係長

業務課企画官

業務課課長補佐（業務第1担当）

業務課課長補佐（利用審査担当）

業務課利用係長

業務課電子情報第1係長

業務課利用審査係長

首席公文書専門官（利用担当）

公文書専門官（利用担当）